

中酪情報 No.613

2024年9月30日発行
毎号奇数月末発行

発行：一般社団法人 中央酪農会議
編集・発行人：寺田 繁
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先及びお問合せ先

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
一般社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295
<http://www.dairy.co.jp/>
(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

編 集 後 記

2021年に開催された国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)において、2015年に採択された「パリ協定」に基づき、世界中での温室効果ガス(GHG)の排出量削減、気候変動の影響にどう対応していくかなど、重要な論点がまとめられました(本号「畜産由来のGHG排出量削減をめぐる動向」参照)。

このような世界の動きを受けて、わが国では本年5月29日、「食料・農業・農村基本法」が改正されました。その背景には、前基本法制定時以降、農業の担い手の高齢化・減少や荒廃農地の増加など農業の実態、食料・農業を取り巻く環境が大きく変化したことがあります。その中の一つに環境問題の深刻化があります。地球温暖化の被害者としてのみではなく、加害者としての農業がクローズアップされました。

地球温暖化問題は喫緊の対応が求められる世界的問題ではありますが、わが国においても対応は不可避となっています。環境制約下における、わが国農業の展望と戦略を議論する必要性が高まっています。